

上場会社名 DIC株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4631 URL http://www.dic-global.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 中西 義之  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 永井 寛 TEL 03-6733-3000  
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	189,010	0.4	13,130	6.4	13,250	9.7	8,839	28.7
28年12月期第1四半期	188,228	△6.2	12,343	17.4	12,083	15.0	6,866	△19.1

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 2,836百万円 (ー%) 28年12月期第1四半期 △7,169百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	93.24	—
28年12月期第1四半期	72.42	—

※当社は、平成28年7月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しました。これに伴い、1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	822,716	303,514	33.4
28年12月期	764,828	307,017	36.4

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 275,023百万円 28年12月期 278,535百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	4.00	—	60.00	—
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	60.00	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成28年12月期の1株当たり期末配当金については、株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しています。株式併合後の基準で換算した平成28年12月期の1株当たり年間配当金は100円となります。

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	390,000	3.3	28,000	7.4	28,000	4.9	18,500	9.0	195.15
通期	790,000	5.1	58,000	7.0	58,000	3.9	37,500	7.9	395.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料3ページ「1. 経営成績(3) 当第2四半期連結累計期間及び通期の業績見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
詳細は、添付資料8ページ「3. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期1Q	95,156,904株	28年12月期	95,156,904株
② 期末自己株式数	29年12月期1Q	357,585株	28年12月期	356,552株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期1Q	94,799,829株	28年12月期1Q	94,807,470株

※上記、各株式数については、前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、算定しています。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページをご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績	1
(1) 当第1四半期連結累計期間の業績全般の概況	1
(2) 当第1四半期連結累計期間のセグメント別業績	1
(3) 当第2四半期連結累計期間及び通期の業績見通し	3
2. 財政状態	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 経営成績

## (1) 当第1四半期連結累計期間の業績全般の概況

当第1四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く事業環境については、世界の景気は緩やかに回復しましたが、経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響、原油価格の動向などに留意すべき状況が続きました。北米及び欧州においては、景気回復が緩やかに継続しました。アジアにおいては、景気持ち直しの動きがみられました。国内においては、一部に景気改善の遅れがみられるものの、緩やかな回復基調が続きました。

このような事業環境の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は、為替のマイナス影響や前期における製品価格低下の影響を受けたものの、出荷が堅調に推移したことなどにより、1,890億円と前年同期比0.4%の増収となりました。

営業利益は、高付加価値製品の伸長やコストダウンが原料価格上昇のマイナス影響をカバーし、131億円と前年同期比6.4%の増益となりました。

経常利益は、金融収支の改善などにより133億円と前年同期比9.7%の増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、88億円と前年同期比28.7%の増益となりました。

	前第1四半期 連結累計期間実績	当第1四半期 連結累計期間実績	前年同期比	
				為替影響排除後
売上高	1,882億円	1,890億円	+0.4%	+3.2%
営業利益	123	131	+6.4%	+11.6%
経常利益	121	133	+9.7%	--
親会社株主に帰属 する四半期純利益	69	88	+28.7%	--

(注) 当第1四半期連結累計期間の決算にあたり、海外関係会社の現地通貨建て業績を円貨に換算するための主な為替レート(期中平均:平成29年1月~3月)は、113.64円/米ドル(前年同期:116.55円/米ドル)を適用しています。

## (2) 当第1四半期連結累計期間のセグメント別業績

(単位:億円)

セグメント	売上高				営業利益			
	前第1四半期 連結累計期間 実績	当第1四半期 連結累計期間 実績	前年同期比		前第1四半期 連結累計期間 実績	当第1四半期 連結累計期間 実績	前年同期比	
				為替影響 排除後				為替影響 排除後
プリンティングインキ	943	899	△4.6%	△0.9%	43	40	△7.1%	△3.7%
ファインケミカル	324	343	+5.8%	+8.3%	30	42	+40.6%	+53.3%
ポリマ	443	469	+6.0%	+7.0%	45	45	△0.2%	+1.9%
コンパウンド	153	150	△2.0%	+1.4%	13	8	△39.4%	△34.3%
アプリケーション マテリアルズ	125	128	+1.8%	+2.7%	3	8	2.6倍	2.7倍
その他、全社・消去	△106	△99	----	----	△11	△12	----	----
計	1,882	1,890	+0.4%	+3.2%	123	131	+6.4%	+11.6%

各セグメントの業績は次のとおりです。前年同期比の( )内の数値は、為替換算の影響を排除した増減比を表しています。なお、プリンティングインキセグメントの業績にはセグメント内の地域間取引が含まれており、合計金額は前述の業績数値と一致しません。

[プリンティングインキ]

・日本 売上高：189億円 前年同期比 △ 4.5%  
営業利益：11億円 前年同期比 + 1.9%

パッケージ用インキは出荷が堅調に推移しましたが、前期における製品価格低下の影響や出版用インキ及び新聞用インキの需要減少などにより、減収となりました。

営業利益は、コストダウンや品目構成の改善などにより、前年同期並となりました。

・米州・欧州 売上高：579億円 前年同期比 △ 5.7% (△ 0.6%)  
営業利益：20億円 前年同期比 △ 7.6% (△ 1.9%)

北米及び欧州では、パッケージ用インキは出荷が伸びましたが、新聞用インキの需要減少などにより、前年同期並となりました。中南米では、パッケージ用インキの出荷が好調に推移し、増収となりました。以上の結果、現地通貨ベースでは前年同期並となりましたが、為替の影響などを受け、減収となりました。

営業利益は、合理化効果は継続してあったものの、上記の売上状況や原料価格上昇の影響などにより、減益となりました。

・アジア・オセアニア 売上高：152億円 前年同期比 △ 1.4% (+ 2.0%)  
営業利益：10億円 前年同期比 △12.2% (△10.5%)

中国では、パッケージ用インキは出荷が堅調に推移しましたが、出版用インキ及び新聞用インキの需要減少などにより、減収となりました。東南アジアでは、全品目において増収となりました。オセアニアでは、新聞用インキの需要減少などにより、減収となりました。インドでは、出版用インキ及びパッケージ用インキの出荷が好調であったことにより、増収となりました。以上の結果、現地通貨ベースでは増収となりましたが、為替の影響などを受け減収となりました。

営業利益は、原料価格急騰の影響などにより、減益となりました。

[ファインケミカル]

売上高：343億円 前年同期比 + 5.8% (+ 8.3%)  
営業利益：42億円 前年同期比 +40.6% (+53.3%)

顔料は、カラーフィルタ用や化粧品用などの機能性顔料の出荷が大きく伸長したことにより、増収となりました。TF T液晶は、出荷が順調であったことに加えて、前年同期が新製品立ち上がりの端境期にあったことにより、大幅な増収となりました。以上の結果、増収となりました。

営業利益は、品目構成の改善などにより、大幅な増益となりました。

[ポリマ]

売上高：469億円 前年同期比 + 6.0% (+ 7.0%)  
営業利益：45億円 前年同期比 △ 0.2% (+ 1.9%)

国内では、高付加価値製品やポリスチレンなどの出荷が伸長したことにより、増収となりました。海外では、出荷が総じて伸長したことにより、大幅な増収となりました。以上の結果、増収となりました。

営業利益は、上記の売上状況ながら原料価格急騰の影響などにより、前年同期並となりました。

## [コンパウンド]

売上高：150億円 前年同期比 △ 2.0% (+ 1.4%)  
 営業利益： 8億円 前年同期比 △39.4% (△34.3%)

PPSコンパウンドは、出荷が好調に推移しましたが、前期における製品価格の低下や為替の影響などにより、前年同期並となりました。ジェットインキは、為替の影響などにより、減収となりました。以上の結果、全体としては現地通貨ベースでは前年同期並となりましたが、為替の影響などを受け、減収となりました。

営業利益は、上記の売上状況に加えて、先行投資による費用増などにより、減益となりました。

## [アプリケーションマテリアルズ]

売上高：128億円 前年同期比 + 1.8% (+ 2.7%)  
 営業利益： 8億円 前年同期比 2.6倍 ( 2.7倍)

中空糸膜モジュールやヘルスケア食品の出荷が伸長したことなどにより増収となりました。

営業利益は、品目構成の改善やコストダウンなどにより、大幅な増益となりました。

## (3) 当第2四半期連結累計期間及び通期の業績見直し

平成29年2月14日に公表した業績見直しを以下の通り修正します。

(単位：億円)

	前第2四半期 連結累計期間 実績	当第2四半期 連結累計期間 見直し	前年同期比	前期実績	通期見直し	前期比
売上高	3,777	3,900 (3,850)	+3.3%	7,514	7,900 (7,700)	+5.1%
営業利益	261	280 (280)	+7.4%	542	580 (580)	+7.0%
経常利益	267	280 (280)	+4.9%	558	580 (580)	+3.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	170	185 (185)	+9.0%	348	375 (375)	+7.9%

( ) 内の数値は平成29年2月14日公表値

## (業績見直しの修正理由)

為替の動向などを踏まえ、見直しを修正します。

業績の見直しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれています。業績に影響を与え得る重要な要素としては、国内外の経済情勢、市場の動向、原材料価格や金利、為替レートの変動などのほか、紛争・訴訟、災害・事故などのリスクがあり、また、事業再構築に伴う一時損失が発生する可能性があります。ただし、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

## 2. 財政状態

## (資産、負債及び純資産の状況に関する分析)

当第1四半期末の資産の部は、主に商業・ペーパーの発行に伴う現預金の増加により、前期末と比べて579億円増加し、8,227億円となりました。負債の部は、主に商業・ペーパーの発行により、前期末比614億円増の5,192億円となりました。また、純資産の部は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した一方、為替の影響などにより前期末比35億円減の3,035億円となりました。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,241	59,875
受取手形及び売掛金	215,369	204,714
商品及び製品	82,611	82,344
仕掛品	9,461	9,879
原材料及び貯蔵品	53,605	54,925
その他	31,289	33,748
貸倒引当金	△10,839	△10,548
流動資産合計	398,737	434,937
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	92,092	91,510
機械装置及び運搬具(純額)	66,342	64,262
工具、器具及び備品(純額)	10,142	10,689
土地	50,169	49,752
建設仮勘定	7,915	9,395
有形固定資産合計	226,660	225,608
無形固定資産		
のれん	501	416
ソフトウェア	4,878	4,540
その他	3,563	3,781
無形固定資産合計	8,942	8,737
投資その他の資産		
投資有価証券	41,007	67,988
退職給付に係る資産	28,074	28,243
その他	62,895	58,645
貸倒引当金	△1,487	△1,442
投資その他の資産合計	130,489	153,434
固定資産合計	366,091	387,779
資産合計	764,828	822,716

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	94,392	105,339
短期借入金	96,391	77,702
コマーシャル・ペーパー	—	56,000
未払法人税等	4,153	4,612
賞与引当金	7,050	6,334
その他	63,353	55,144
流動負債合計	265,339	305,131
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	109,918	134,726
退職給付に係る負債	28,072	26,236
資産除去債務	1,334	1,309
その他	23,148	21,800
固定負債合計	192,472	214,071
負債合計	457,811	519,202
純資産の部		
株主資本		
資本金	96,557	96,557
資本剰余金	94,094	94,094
利益剰余金	159,541	162,692
自己株式	△1,213	△1,217
株主資本合計	348,979	352,126
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,248	5,622
繰延ヘッジ損益	△187	20
為替換算調整勘定	△48,626	△57,089
退職給付に係る調整累計額	△26,879	△25,656
その他の包括利益累計額合計	△70,444	△77,103
非支配株主持分	28,482	28,491
純資産合計	307,017	303,514
負債純資産合計	764,828	822,716



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	188,228	189,010
売上原価	143,553	144,672
売上総利益	44,675	44,338
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	10,893	10,525
貸倒引当金繰入額	369	15
賞与引当金繰入額	1,137	1,260
退職給付費用	459	233
その他	19,474	19,175
販売費及び一般管理費合計	32,332	31,208
営業利益	12,343	13,130
営業外収益		
受取利息	145	306
受取配当金	187	174
持分法による投資利益	732	829
その他	610	514
営業外収益合計	1,674	1,823
営業外費用		
支払利息	950	762
為替差損	400	150
その他	584	791
営業外費用合計	1,934	1,703
経常利益	12,083	13,250
特別利益		
負ののれん発生益	78	—
特別利益合計	78	—
特別損失		
固定資産処分損	2,162	562
リストラ関連退職損失	435	243
貸倒引当金繰入額	632	—
特別損失合計	3,229	805
税金等調整前四半期純利益	8,932	12,445
法人税等	1,382	2,930
四半期純利益	7,550	9,515
非支配株主に帰属する四半期純利益	684	676
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,866	8,839

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)
四半期純利益	7,550	9,515
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,745	404
繰延ヘッジ損益	107	206
為替換算調整勘定	△15,853	△8,905
退職給付に係る調整額	3,451	1,226
持分法適用会社に対する持分相当額	△679	390
その他の包括利益合計	△14,719	△6,679
四半期包括利益	△7,169	2,836
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,465	2,180
非支配株主に係る四半期包括利益	296	656

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しています。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計
	プリンティングインキ	ファインケミカル	ポリマ	コンパウンド	アプリケーションマテリアルズ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	94,253	22,600	43,316	15,344	12,522	188,035	193	188,228
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	9,800	949	2	16	10,767	—	10,767
計	94,253	32,400	44,265	15,346	12,538	198,802	193	198,995
セグメント利益	4,322	2,993	4,506	1,326	290	13,437	9	13,446

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	13,437
「その他」の区分の利益	9
全社費用(注)	△1,103
四半期連結損益計算書の営業利益	12,343

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当第1四半期連結累計期間においては、ポリマセグメントにおいて78百万円の負ののれん発生益を計上していません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計
	プリンティングインキ	ファインケミカル	ポリマ	コンパウンド	アプリケーションマテリアルズ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	89,900	25,321	45,936	15,033	12,755	188,945	65	189,010
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	8,952	983	5	13	9,953	—	9,953
計	89,900	34,273	46,919	15,038	12,768	198,898	65	198,963
セグメント利益	4,015	4,208	4,497	804	754	14,278	2	14,280

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	14,278
「その他」の区分の利益	2
全社費用(注)	△1,150
四半期連結損益計算書の営業利益	13,130

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総合研究所に係る費用です。